



自民京都府議団

### 令和6年度5月臨時会を経て新体制が発足しました



■京都府議会議長/石田宗久

■京都府監査委員/四方源太郎

常任委員会

総務・警察  
○田島 祥充  
○中村 正孝  
○近藤 永太郎  
石田 宗久  
秋田 古林  
公司 良崇

危機管理・健康福祉  
○青木 義照  
○渡辺 邦子  
○田中 英夫  
藤山 裕紀子  
磯野 勝  
小巻 久美

文化生活・教育  
○兎本 和久  
○荒巻 隆三  
○中島 武文  
○瀧脇 光樹  
○田中 正明  
○小巻 久美

政策環境建設  
○宮下友紀子  
○家元 優  
○片山 誠治  
○池田 正義  
○四方 源太郎

農商工労働  
○森口 亨  
○能勢 大澤  
○園崎 津田  
○大澤 彰久  
○高橋 裕也

○委員長 ○副委員長  
★…議会改革検討小委員会委員長 ☆…議会改革検討小委員会委員

議会運営委員会

○△荒巻 隆三 △★中村 正孝 兎本 和久  
☆中島 武文 ☆田島 祥充 ☆古林 良崇  
☆大澤 彰久

予算特別委員会

○藤山裕紀子 ○中村 正孝

政策調整会議

座長/家元 優 宮下友紀子

広報広聴会議

座長/田島 祥充 古林 良崇

京都地方税機構議会

荒巻 隆三 中村 正孝

関西広域連合議会

渡辺邦子

### 令和6年度6月補正予算 総額 37億5,100万円

#### 1.大阪・関西万博開催に向けた取組

- ◆関西パビリオンの多目的エリアにおいて京都の多様な魅力を発信 2,000万円
- ◆精華大通りにスマートインフラを整備することで持続可能な実証環境を構築 5,000万円

#### 2.その他の施策

- ◆府市トップマーティングの成果として、はじめての施策となる周遊観光に着手 1,000万円
- ◆緊急的な医師確保対策を実施することで中北部地域の医師不足に対応 3,400万円
- ◆太陽光発電設備等の設置支援により府内の温室効果ガス排出量を削減 1億800万円
- ◆多用途施設として整備するアリーナを核とした向日市をはじめとする周辺市町との協働によるまちづくりを検討 100万円
- ◆人・物・情報・日々の生活の基盤づくりを加速化(公共事業) 35億2,800万円

### 政務調査活動

陸上自衛隊・航空自衛隊・第十一管区海上保安本部・米軍、それぞれの取組や各組織間の連携、今現在日本周辺にて普遍的価値やそれに基づく政治・経済体制を共有しない国や地域が複数存在することによって抱える課題について認識を深めることができた。



令和6年3月 嘉手納基地





## 令和6年6月定例会において自民党議員団は以下の質問を致しました。

※6月定例会での質問内容の一部抜粋です。詳しくは京都府議会のHP録画中継でもご覧頂けます。

- 1、府市トップミーティングについて
- 2、水産業を通じた漁村の活性化について
- 3、活力ある持続可能なまちづくり

舞鶴市

### 池田正義

- 本年4月に西脇知事と松井京都市長との間で、初めての府市トップミーティングが開催されたが、その成果は?また府市協調の成果や効果を、京都市域のみに留めることなく、広く府域に届ける取組は?
- 「丹後とり貝」や「ズワイガニ」などの府内水産物のブランド化は評価されているが、消費者や観光客に十分に伝えられていない水産業のブランド強化や付加価値向上に繋げる取組はどうか。また、水産業振興には海洋センターの機能強化を図るべきと考えるがどうか。
- 活力ある持続可能なまちづくりに必要な舞鶴版コンパクトシティネットワークを実現するため鍵となるネットワークのリンクが府道小倉西舞鶴線であるが、新白鳥トンネルを含めた歩道付きの4車線道路の改築事業について進捗状況や供用見込はどうか。



府民が安全に安心して、これからも住み続けていけるように、府民の願いを知事に届けます!

長岡京市・乙訓郡

### 能勢昌博

- 1.共生型福祉施設の整備について  
向日が丘共生型福祉エリアに建設される児童発達支援センターに京都府が専門医療を充足することが必要で、新たな連携モデルの拠点として支援するべきでは?  
また、改築される向日が丘支援学校は地域や共生型福祉施設と積極的な連携を。
- 2.府立医科大学附属病院について  
紹介状を出されてから初診までの待機時間や再診までの日数、複数診療科の受診の効率を高めるICT化が必要では?
- 3.府道整備について  
馬場橋や長法寺小学校前の交差点等の通学路や京都アリーナ(仮称)へのアクセス道である西京高槻線の整備が必要では?



人づくりで、力強い経済、災害に強い地域、未来に夢の持てる京都府の実現を。

宇治市・久世郡

### 藤山裕紀子

- 職員の人材育成についてー府民に寄り添った仕事、京都府の未来のための仕事ができる人材を育成するため、若手職員の早期退職の防止につなげるため、業務に対する情熱と愛情、京都府に対する愛情を育む職員の育成を。
- インターンシップについてー京都経済を支える府内の中小零細企業の人材確保のためのインターンシップの促進と、府外への若手人材の流出を防ぎ、京都で活躍する人材を確保するために、府内の魅力ある企業を知り、京都で働くことに夢をもてるインターンシップ制度の充実を。
- 危機管理体制の更なる充実についてー有事の際に重要な若い世代の防災への意識向上のための取組推進と、民間団体間の連携を図るとともにより実際に近い防災訓練の実施で災害に強い京都府づくりを。



- ①移住対策と担い手確保対策の推進を!
- ②中小企業支援と丹後の産業振興を!
- ③最先端の地域医療の提供を!

宮津市・与謝郡

### 中島武文

- ①移住対策と担い手確保対策を推進し魅力ある地域づくりを!  
人口減少対策は少子化対策、教育や福祉の充実など、幅広い施策の総合力で築かれるものと考える。広域行政を担う京都府の役割が重要であり、市町村と同じ方向を向いて取り組んでいただきたい。
- ②中小企業支援と丹後地域の観光・織物・機械金属業の振興を!  
コロナ禍が終わり、急激なエネルギー・物価高を迎える中で、中小企業が負上昇の原資となる利益を確保し、持続的な成長を実現するための事業継続支援を行っていただきたい。
- ③最先端の地域医療を提供するための拠点づくりの推進を!  
京都府と府立医科大学が連携し、北部医療センターを最先端の地域医療が提供され、学べる「知の拠点」へと進化させていただきたい。



「人口減少社会を踏まえた京都産業の未来」「自然災害への備え」「体感治安の改善」について

南区

### 秋田公司

- ◆生産年齢人口が減少し、就業者数の増加が期待できない中、持続的な経済成長、豊かな社会やワーク・ライフ・バランス実現のためには、労働生産性の向上が重要。  
◆人口減少局面でも、京都の魅力や知恵を活かしつつ、スタートアップや若者、女性などの力を取り込むことで、京都産業の未来を切り拓いていくべき。  
◆花折断層帯地震被害想定の見直し結果や1月の能登半島地震の被害から上下水道や道路等のインフラ関連の被害が懸念され、ハード・ソフト両面から直ちに対策に取り組むべき。  
◆刑法犯認知件数は、10年前に比べ大きく減少しているが、特殊詐欺や悪質商法の被害など、不安を搔き立てる事件・事故が報じられ、道徳心や自制心が希薄になりつつあり、体感治安の悪化にどのように取り組むのか。



- ①障害者手帳所持者の一般就労支援
- ②京都府のインフラ整備
- ③学校教育における探究学習のあり方

京田辺市・綴喜郡

### 古林良崇

- ①(1)京都府はどのように関係機関との連携を図り、福祉的就労から一般就労への移行支援に取り組み、今後の展開をどう考えているか。  
①(2)「京田辺みんなの働くプロジェクト」の様な民間による地域に根差した取組もいかし京都府は就労支援を行なべきと考えるがどうか。  
②(1)危機管理センターの果たす役割と、応援員の受け体制はどうか。  
②(2)京都府が管理するインフラの老朽化・耐震化対策の状況と、財政面や技術職員の不足等の課題を抱える市町村への支援はどうか。  
③(1)教育委員会が目指す探究学習のあり方や意義・目的についてと、子ども達を導く教員に求められる力やその力の強化手法はどうか。  
③(2)探究学習には俯瞰的な視点が求められ、インフラについての学びや、自然科学系と人文・社会学系の調和のとれた研究も重要では?



- ①半導体産業振興への取組について
- ②災害時のトイレ対策について
- ③山科区における府市協調の取組について

山科区

### 大澤彰久

- ①今後大きく成長が見込まれる半導体市場において、本府内の半導体産業を振興していくためには、優秀な大学が数多くあり、特に理系分野を目指す学生が多いという特徴を活かし、产学連携しながら「京都の智」をもって、成長著しい半導体市場の実績を享受できる取組の推進を提言。  
②能登半島地震の教訓を活かすため、避難所運営主体である自治体には、命や尊厳にも関わるトイレ環境を整備する責務があるため、来るべき南海トラフ巨大地震に備え、発災時に災害用トイレを迅速に調達できるよう、関係団体や事業者と協定を締結し、連携体制を強化し、災害時に円滑に運用することが重要であると提言。  
③◆国道1号バイパスの早期実現◆JR山科駅の整備◆京都刑務所の移転



問持続可能な地域公共交通の取組みは?  
答国や市町村、福祉や観光など全分野の地域資源を総動員し、維持・活性化する。

京丹後市

### 森口亨

- 問丹後半島の防災と強靭化は?  
答能登半島地震の教訓を踏まえ地域特性に応じた対策を進めるため、京都府北部の郷村断層帯などの被害想定を見直す。  
問丹後半島振興計画の推進は?  
答海の京都による観光振興、産地形成、水産物のブランド化、担い手確保など実効性ある運営に努めている。今後も、道路の信頼性向上などの強靭化や災害対策の強化などを通じて、丹後半島の地域活性化に取組む。  
問漁業者を中心に漁協や加工・流通業者が一体となり進めてきた京都府ブランド水産物の再構築を急げ!  
答府内のブランド水産物の歴史は浅く、いまだ成長段階にある。価値形成のあり方を見直し、管理やコンプライアンスなど産地意識の向上と、消費者の信頼を高める努力を積み重ね、確固たる京都府ブランドを築く。



- ①商店街の振興について
- ②SNS型投資・ロマンス詐欺対策について
- ③自殺対策について

下京区

### 小巻久美

- ①商店街創生センターによる地域の実情に応じた支援、環境整備に取り組んで頂いているが、大阪・関西万博の開催を契機として、商店街を魅力的な観光資源として活かしつつ、府内各地の地域活性化へと繋げるには、どのようにしていくのか。子育て環境日本一推進戦略において、子育て支援に取り組むキーパーソンを発掘、育成するとしているが、どのような取り組みをしていくのか。  
②全国的に深刻な情勢にあるSNS型投資詐欺やロマンス詐欺について、手口等を周知し、被害抑止に向けて取り組んで頂きたい。  
③府自殺ストップセンターにおいて、様々な相談窓口を開設して頂いているが、まずはゲートキーパーを増やすことが重要であると考えるが、学校や企業等で広く周知し、更なる取組をお願いしたい。

